中学校歴史 単元別学習 90 問

第 15 単元 日本の産業革命と近代文化

範囲：産業革命と資本主義／労働・公害／教育と科学／文学・美術・音楽
用語と順序を確かめ、産業や文化の発展が人々の暮らしに与えた影響を説明しよう。

STEP 1 一問一答 50 問

機械工業と産業革命

問 1　機械を使う工場生産が広がり、経済や社会の仕組みが大きく変わることを何というか。

問 2　繊維や食品など、主に生活用品を生産する工業を何というか。

問 3　綿花などの繊維を、機械を使って糸にする産業を何というか。

問 4　蚕の繭から糸を取り出す産業を何というか。

問 5　1883 年に操業を始め、大規模な機械紡績の発展を先導した、大阪の会社は何か。

問 6　紡績業で、綿花を原料としてつくる主な糸は何か。

問 7　製糸業で繭から取り出され、欧米向けの重要な輸出品となった糸は何か。

問 8　1901 年、福岡県で操業を始めた、官営の大規模な製鉄所は何か。

問 9　鉄鋼・造船・機械など、生産設備や大型の製品をつくる工業を何というか。

問 10　蒸気機関の主要な燃料で、北海道や九州の炭田で採掘が進んだ資源は何か。

資本主義と金融・交通

問 11　資本家が工場などを所有し、労働者を雇って利潤を得る経済の仕組みを何というか。

問 12　株式を発行し、多くの人々から資金を集めて事業を行う会社の仕組みは何か。

問 13　第一国立銀行や大阪紡績会社など、多くの会社の設立に関わった実業家は誰か。

問 14　海運業を発展させ、三菱の基礎を築いた実業家は誰か。

STEP 1 一問一答 50 問 続き

問 15　三井・三菱など、一族を中心に銀行や鉱山・工場などを支配した企業集団は何か。

問 16　1906 年、主要な私鉄を国が買い上げることを定めた法律は何か。

問 17　1889 年、新橋と神戸の間が全線開通した、鉄道の幹線は何か。

問 18　1882 年、通貨や信用の制度を整えるため、中央銀行として設立された銀行は何か。

問 19　1880 年代前半、紙幣の整理や緊縮財政を進めた、大蔵卿となった人物は誰か。

農村・労働と社会問題

問 20　農地を他の農民に貸し付け、小作料を受け取る土地所有者を何というか。

問 21　地主から農地を借り、耕作して小作料を納める農民を何というか。

問 22　農地を借りた農民が、地主に納める米や金銭などを何というか。

問 23　賃金や働く条件の改善を求めて、労働者がつくる組織を何というか。

問 24　労働条件をめぐり、労働者と雇い主が対立し、ストライキなどに発展する争いは何か。

問 25　1911 年に公布され、年少者や女性の労働時間の制限などを定めた法律は何か。

問 26　銅山からの鉱毒が渡良瀬川流域の農業や生活に大きな被害を与えた公害事件は何か。

問 27　足尾銅山の鉱毒問題を議会で追及し、天皇への直訴も試みた政治家は誰か。

問 28　1900 年、政治運動や労働運動を厳しく取り締まるために制定された法律は何か。

問 29　堺利彦らと平民社をつくり、非戦論や社会主義の考え方を広めた人物は誰か。

教育の普及と科学の発展

問 30　1890 年に出され、天皇への忠誠などを重視する、教育の道徳的な方針となった文書は何か。

問 31　1907 年の小学校令改正で、義務教育の年限を何年に延ばすことが定められたか。

問 32　破傷風菌の純粋培養や血清療法の研究で知られる細菌学者は誰か。

問 33　赤痢菌を発見し、感染症の研究に取り組んだ細菌学者は誰か。

問 34　黄熱病などを研究し、アフリカで黄熱病に感染して亡くなった細菌学者は誰か。

問 35　タカジアスターゼの創製や、アドレナリンの結晶化に成功した化学者は誰か。

問 36　土星型の原子模型を提案し、日本の物理学の発展に貢献した人物は誰か。

問 37　1875 年、京都に同志社英学校を開き、キリスト教主義の教育を進めた人物は誰か。

小説・短歌・俳句の新しい表現

問 38　『吾輩は猫である』『坊っちゃん』などを書いた小説家は誰か。

問 39　ドイツ留学を経験した軍医でもあり、小説『舞姫』などを書いた人物は誰か。

問 40　『たけくらべ』『にごりえ』などを書いた、明治の女性小説家は誰か。

問 41　話し言葉に近い言文一致体の小説『浮雲』を発表した作家は誰か。

問 42　詩集『若菜集』や小説『破戒』などを書いた作家は誰か。

問 43　歌集『一握の砂』などで、生活や心情を短歌に表した歌人は誰か。

問 44　歌集『みだれ髪』を発表し、自由な感情を表現した女性歌人は誰か。

問 45　写生を重視し、俳句や短歌の革新を進めた人物は誰か。

近代の美術と音楽

問 46　日本美術の価値を見直し、横山大観らと日本美術院を設立した人物は誰か。

問 47　岡倉天心らと協力し、日本の伝統美術の価値を高く評価したアメリカ人は誰か。

問 48　フランスで学んだ洋画家で、代表作『湖畔』などを描いた人物は誰か。

問 49　日本美術院に参加し、『屈原』などの作品を描いて日本画の発展に努めた画家は誰か。

問 50　西洋音楽を学び、『荒城の月』『花』などを作曲した人物は誰か。

STEP 2 歴史の並び替え 20 問

次のア〜エを、古い順に並べなさい。

問 1　機械工業と交通の発展

ア 鉄道国有法が制定される　　イ 大阪紡績会社が操業を始める
ウ 八幡製鉄所が操業を始める　　エ 富岡製糸場が開業する

問 2　金融と工業の成長

ア 八幡製鉄所が操業を始める　　イ 東海道線が全線開通する
ウ 日本銀行が開業する　　エ 大阪紡績会社が操業を始める

問 3　鉄道と工場の制度

ア 東海道線が全線開通する　　イ 八幡製鉄所が操業を始める
ウ 工場法が公布される　　エ 鉄道国有法が制定される

問 4　産業の成長と鉱毒問題

ア 工場法が公布される　　イ 大阪紡績会社が操業を始める
ウ 田中正造が直訴を試みる　　エ 田中正造が鉱毒を議会で問う

問 5　労働と社会の制度

ア 工場法が公布される　　イ 平民社がつくられる
ウ 工場法が施行される　　エ 治安警察法が制定される

問 6　近代教育の歩み

ア 学制が公布される　　イ 教育勅語が出される
ウ 義務教育 6 年制が定められる　　エ 同志社英学校が開かれる

問 7　近代小説の登場

ア『舞姫』が発表される　　イ『浮雲』第 1 編が刊行される
ウ『破戒』が刊行される　　エ『たけくらべ』の連載が始まる

STEP 2 歴史の並び替え 20 問 続き

次のア〜エを、古い順に並べなさい。

問 8　小説と短歌の新しい動き

ア 『吾輩は猫である』が発表される　　イ 『破戒』が刊行される
ウ 『一握の砂』が刊行される　　エ 『みだれ髪』が刊行される

問 9　文学と美術の展開

ア 『浮雲』第 1 編が刊行される　　イ 『みだれ髪』が刊行される
ウ 日本美術院が設立される　　エ 黒田清輝が『湖畔』を描く

問 10　教育と社会の変化

ア 教育勅語が出される　　イ 義務教育 6 年制が定められる
ウ 治安警察法が制定される　　エ 平民社がつくられる

問 11　産業を支える仕組み

ア 八幡製鉄所が操業を始める　　イ 鉄道国有法が制定される
ウ 東海道線が全線開通する　　エ 日本銀行が開業する

問 12　工場と社会問題への動き

ア 田中正造が直訴を試みる　　イ 大阪紡績会社が操業を始める
ウ 平民社がつくられる　　エ 工場法が公布される

問 13　学校・文学・美術の歩み

ア 『浮雲』第 1 編が刊行される　　イ 日本美術院が設立される
ウ 同志社英学校が開かれる　　エ 『みだれ髪』が刊行される

問 14　文学と学校教育

ア 『吾輩は猫である』が発表される　　イ 教育勅語が出される
ウ 義務教育 6 年制が定められる　　エ 『たけくらべ』の連載が始まる

STEP 2 歴史の並び替え 20 問 続き

次のア〜エを、古い順に並べなさい。

問 15　産業と新しい表現

ア 八幡製鉄所が操業を始める　　イ 『浮雲』第 1 編が刊行される
ウ 大阪紡績会社が操業を始める　　エ 黒田清輝が『湖畔』を描く

問 16　社会問題と文化の展開

ア 田中正造が鉱毒を議会で問う　　イ 日本美術院が設立される
ウ 平民社がつくられる　　エ 『一握の砂』が刊行される

問 17　文学の広がりと労働保護

ア 『一握の砂』が刊行される　　イ 『舞姫』が発表される
ウ 『みだれ髪』が刊行される　　エ 工場法が公布される

問 18　学校と工場の近代化

ア 大阪紡績会社が操業を始める　　イ 工場法が施行される
ウ 義務教育 6 年制が定められる　　エ 学制が公布される

問 19　金融と社会制度の整備

ア 鉄道国有法が制定される　　イ 治安警察法が制定される
ウ 日本銀行が開業する　　エ 工場法が公布される

問 20　産業発展と課題への対応

ア 工場法が公布される　　イ 富岡製糸場が開業する
ウ 東海道線が全線開通する　　エ 田中正造が直訴を試みる

STEP 3 記述問題 20 問

理由やつながりが伝わるように説明しなさい。資料がある問題は、資料も使って考えよう。

問 1　産業革命では、ものをつくる方法や働く場所はどのように変わったか。手工業との違いに触れて説明しなさい。

問 2　紡績業と製糸業は、原料と製品がどう違うか。また、日本の産業発展にどのような役割を果たしたか説明しなさい。

問 3　紡績業や製糸業の発展は、農村出身の女性たちにどのように支えられたか。また、働く上でどのような問題があったか説明しなさい。

資料　農村の若い女性たちが工場で働き、家計を助けた。一方、長時間の労働や低い賃金、寄宿舎での厳しい生活などが問題となった。

問 4　政府が八幡製鉄所をつくったのはなぜか。鉄鋼の用途と、軽工業以外の産業の育成から説明しなさい。

問 5　官営工場などの払い下げは、民間企業や財閥の成長とどのように関わったか。資料を使って説明しなさい。

資料　政府は官営の工場や鉱山などの一部を民間に売り渡した。民間企業は、これらの設備や技術を事業に取り入れた。

STEP 3 記述問題 20 問 続き

理由やつながりが伝わるように説明しなさい。資料がある問題は、資料も使って考えよう。

問 6　株式会社の仕組みは、大規模な工場や鉄道などの事業を進める上で、どのように役立ったか。資金の集め方から説明しなさい。

問 7　鉄道網の発達は、工場や農村、都市の結び付きをどのように変えたか。原料や製品の移動に触れて説明しなさい。

問 8　松方財政の下での物価下落は、農民の土地所有にどのような影響を与えたか。資料を使って説明しなさい。

資料　米などの価格が下がると、販売収入は減った。一方、現金で納める地租や借金の返済が負担となり、土地を手放す農民も現れた。

問 9　労働者が労働組合をつくり、団体で要求するようになったのはなぜか。個人で雇い主と交渉する場合との違いから説明しなさい。

問 10　工場法は何を目的とした法律か。また、公布後すぐに全ての労働者が同じように保護されたといえるか。資料も使って説明しなさい。

資料　1911 年公布の工場法は、1916 年に施行された。主に女性や年少者の労働を保護したが、対象となる工場や規制の範囲には限りがあった。

STEP 3 記述問題 20 問 続き

理由やつながりが伝わるように説明しなさい。資料がある問題は、資料も使って考えよう。

問 11　治安警察法と工場法では、労働者に関する政府の対応はどう違ったか。それぞれの目的に触れて説明しなさい。

問 12　足尾銅山鉱毒事件から、産業の発展にはどのような課題が伴ったと分かるか。川の流域の農業や暮らしとの関係から説明しなさい。

問 13　田中正造は、鉱毒被害をなぜ議会などで訴えたのか。被害を受けた人々と、政府の役割に触れて説明しなさい。

問 14　学校教育の普及は、産業や文化の発展にどのようにつながったか。読み書き・計算や、新聞・本の読者に触れて説明しなさい。

問 15　教育勅語は、学校教育と国家の関係にどのような役割を持ったか。天皇や道徳との関係から説明しなさい。

STEP 3 記述問題 20 問 続き

理由やつながりが伝わるように説明しなさい。資料がある問題は、資料も使って考えよう。

問 16　二葉亭四迷や正岡子規は、文章や短歌・俳句の表現をどのように変えようとしたか。言文一致と写生の意味に触れて説明しなさい。

問 17　発展　「近代美術の発展とは、日本の絵を全て西洋の絵に置き換えたことだ」といえるか。資料から説明しなさい。

資料　黒田清輝らは西洋の油絵を学んだ。一方、岡倉天心・フェノロサは日本美術の価値を見直し、横山大観らは日本画の新しい表現を進めた。

問 18　発展　明治の科学の発展を、「欧米の知識をまねただけ」と説明してよいか。科学者の具体的な活動を二つ挙げて説明しなさい。

問 19　発展　日露戦争の時代の人々の考え方を、一つの意見だけで説明できるか。資料を使い、言論や文学の役割にも触れて説明しなさい。

資料　開戦を求める意見が広まる一方、平民社は非戦論を唱えた。与謝野晶子は、戦場にいる弟の命を案じる詩を発表した。

問 20　発展　「産業の発展で、国民全員の暮らしが同じように豊かになった」といえるか。発展の成果と、異なる立場の人々の負担を具体例で説明しなさい。

解答 STEP 1 一問一答

表記が異なっていても、同じ内容を正しく示していれば正解とします。

番号	解答	番号	解答
1	産業革命	26	足尾銅山鉱毒事件
2	軽工業	27	田中正造
3	紡績業	28	治安警察法
4	製糸業	29	幸徳秋水
5	大阪紡績会社	30	教育勅語
6	綿糸	31	6 年
7	生糸	32	北里柴三郎
8	八幡製鉄所	33	志賀潔
9	重工業	34	野口英世
10	石炭	35	高峰譲吉
11	資本主義	36	長岡半太郎
12	株式会社	37	新島襄
13	渋沢栄一	38	夏目漱石
14	岩崎弥太郎	39	森鴎外
15	財閥	40	樋口一葉
16	鉄道国有法	41	二葉亭四迷
17	東海道線	42	島崎藤村
18	日本銀行	43	石川啄木
19	松方正義	44	与謝野晶子
20	地主	45	正岡子規
21	小作農	46	岡倉天心
22	小作料	47	フェノロサ
23	労働組合	48	黒田清輝
24	労働争議	49	横山大観
25	工場法	50	滝廉太郎

認められる表記の例

問 5：大阪紡績も可。問 8：官営八幡製鉄所も可。問 17：東海道本線も可。
問 21：小作人・小作農民も可。問 26：足尾鉱毒事件も可。問 39：森鷗外も可。
問 46：岡倉覚三も可。問 47：フェノローサも可。問 50：瀧廉太郎も可。

解答 STEP 2 並び替え

出来事の年代と、その前後のつながりも確認しましょう。

番号	答え	解説
1	エ→イ→ウ→ア	富岡製糸場の開業（1872 年） → 大阪紡績会社の操業開始（1883 年） → 八幡製鉄所の操業開始（1901 年） → 鉄道国有法（1906 年）
2	ウ→エ→イ→ア	日本銀行の開業（1882 年） → 大阪紡績会社の操業開始（1883 年） → 東海道線の全線開通（1889 年） → 八幡製鉄所の操業開始（1901 年）
3	ア→イ→エ→ウ	東海道線の全線開通（1889 年） → 八幡製鉄所の操業開始（1901 年） → 鉄道国有法（1906 年） → 工場法の公布（1911 年）
4	イ→エ→ウ→ア	大阪紡績会社の操業開始（1883 年） → 田中正造による鉱毒問題の議会質問（1891 年） → 鉱毒問題で田中正造が直訴を試みる（1901 年） → 工場法の公布（1911 年）
5	エ→イ→ア→ウ	治安警察法（1900 年） → 平民社の創設（1903 年） → 工場法の公布（1911 年） → 工場法の施行（1916 年）
6	ア→エ→イ→ウ	学制の公布（1872 年） → 同志社英学校の開校（1875 年） → 教育勅語（1890 年） → 義務教育を 6 年に延長する小学校令改正（1907 年）
7	イ→ア→エ→ウ	二葉亭四迷『浮雲』第 1 編の刊行（1887 年） → 森鷗外『舞姫』の発表（1890 年） → 樋口一葉『たけくらべ』の連載開始（1895 年） → 島崎藤村『破戒』の刊行（1906 年）
8	エ→ア→イ→ウ	与謝野晶子『みだれ髪』の刊行（1901 年） → 夏目漱石『吾輩は猫である』の発表開始（1905 年） → 島崎藤村『破戒』の刊行（1906 年） → 石川啄木『一握の砂』の刊行（1910 年）
9	ア→エ→ウ→イ	二葉亭四迷『浮雲』第 1 編の刊行（1887 年） → 黒田清輝『湖畔』の制作（1897 年） → 日本美術院の設立（1898 年） → 与謝野晶子『みだれ髪』の刊行（1901 年）
10	ア→ウ→エ→イ	教育勅語（1890 年） → 治安警察法（1900 年） → 平民社の創設（1903 年） → 義務教育を 6 年に延長する小学校令改正（1907 年）

解答 STEP 2 並び替え 続き

番号	答え	解説
11	エ→ウ→ア→イ	日本銀行の開業（1882 年） → 東海道線の全線開通（1889 年） → 八幡製鉄所の操業開始（1901 年） → 鉄道国有法（1906 年）
12	イ→ア→ウ→エ	大阪紡績会社の操業開始（1883 年） → 鉱毒問題で田中正造が直訴を試みる（1901 年） → 平民社の創設（1903 年） → 工場法の公布（1911 年）
13	ウ→ア→イ→エ	同志社英学校の開校（1875 年） → 二葉亭四迷『浮雲』第 1 編の刊行（1887 年） → 日本美術院の設立（1898 年） → 与謝野晶子『みだれ髪』の刊行（1901 年）
14	イ→エ→ア→ウ	教育勅語（1890 年） → 樋口一葉『たけくらべ』の連載開始（1895 年） → 夏目漱石『吾輩は猫である』の発表開始（1905 年） → 義務教育を 6 年に延長する小学校令改正（1907 年）
15	ウ→イ→エ→ア	大阪紡績会社の操業開始（1883 年） → 二葉亭四迷『浮雲』第 1 編の刊行（1887 年） → 黒田清輝『湖畔』の制作（1897 年） → 八幡製鉄所の操業開始（1901 年）
16	ア→イ→ウ→エ	田中正造による鉱毒問題の議会質問（1891 年） → 日本美術院の設立（1898 年） → 平民社の創設（1903 年） → 石川啄木『一握の砂』の刊行（1910 年）
17	イ→ウ→ア→エ	森鴎外『舞姫』の発表（1890 年） → 与謝野晶子『みだれ髪』の刊行（1901 年） → 石川啄木『一握の砂』の刊行（1910 年） → 工場法の公布（1911 年）
18	エ→ア→ウ→イ	学制の公布（1872 年） → 大阪紡績会社の操業開始（1883 年） → 義務教育を 6 年に延長する小学校令改正（1907 年） → 工場法の施行（1916 年）
19	ウ→イ→ア→エ	日本銀行の開業（1882 年） → 治安警察法（1900 年） → 鉄道国有法（1906 年） → 工場法の公布（1911 年）
20	イ→ウ→エ→ア	富岡製糸場の開業（1872 年） → 東海道線の全線開通（1889 年） → 鉱毒問題で田中正造が直訴を試みる（1901 年） → 工場法の公布（1911 年）

解答 STEP 3 記述問題

模範解答は一例です。同じ意味を正しく説明できていれば正解とします。
「採点のポイント」を満たすか確認し、足りない言葉を自分の解答に加えよう。

問題	模範解答	採点のポイント
問 1 産業革命の変化	家や小さな作業場で手作業を中心に生産する方法に加え、大きな工場で機械を使い、多くの製品をつくる方法が広がった。工場に資本と働き手が集まり、賃金を得て働く労働者も増えた。	機械による工場生産の拡大と、働く場所・雇用の変化を結び付ける。
問 2 紡績と製糸	紡績業は綿花などから綿糸などの糸をつくり、製糸業は繭から生糸を取り出す。綿糸は国内生産が増えて輸出も伸び、生糸は欧米への重要な輸出品となり、軽工業を中心とする産業発展を支えた。	綿花と綿糸、繭と生糸を区別し、生産や輸出への役割を示す。
問 3 工場を支えた人	農村出身の多くの女性が工場で生産を担い、家計を助けるとともに産業の成長を支えた。しかし、長時間労働や低賃金、厳しい生活環境などに置かれ、健康や暮らしを損なう問題が生じた。	女性の労働が生産を支えたことと、労働・生活上の負担の両方を示す。
問 4 製鉄所の役割	造船・機械・鉄道・軍備などに必要な鉄鋼を、国内で大量に生産する基盤を整えるためである。紡績や製糸などの軽工業だけでなく、重工業も育て、国の生産力や軍事力を強めようとした。	鉄鋼の具体的な用途と、重工業を育てる目的を結び付ける。
問 5 払い下げと財閥	民間企業は、払い下げられた工場や鉱山の設備・技術を利用して事業を広げた。政府の支援や払い下げも背景に、三井・三菱などは銀行・鉱山・工業などをまとめる財閥へ成長した。	払い下げによる設備・技術の利用と、企業集団の事業拡大を示す。
問 6 会社と資金	株式を通じて多くの人々から出資を集め、個人だけでは用意しにくい大きな資金をまとめられた。集めた資金を機械や工場・鉄道などに使うことで、大規模な事業を進めやすくした。	多数の出資者から資金を集める仕組みと、大規模な設備投資の関係を示す。
問 7 鉄道と産業	原料や農産物を工場や都市へ、工業製品を各地の市場へ運びやすくした。人の移動も便利になり、離れた地域の売買や働き手の移動が活発になって、工場・農村・都市の結び付きが強まった。	原料・製品と人の移動の変化を挙げ、地域や市場の結び付きの拡大を示す。

解答 STEP 3 記述問題 続き

問題	模範解答	採点のポイント
問 8 物価下落と農村	農産物の価格下落で収入が減る一方、地租や借金の負担が重く感じられるようになった。土地を手放した農民の一部は地主の土地を借りる小作農となり、地主が土地を集める動きが進んだ。	収入減と現金の負担から、土地喪失・小作農化や地主の土地集中へつなげる。
問 9 労働組合の目的	労働者一人では、雇い主に賃金の引上げや労働時間の短縮を求めても立場が弱かったためである。仲間と組織をつくって団体で交渉し、働く条件の改善や生活の安定を求めた。	個人の交渉力の弱さと、団結して労働条件の改善を求める目的を示す。
問 10 工場法の限界	劣悪な工場労働から、女性や年少者などを保護することを目的とした。施行は公布の 5 年後で、適用範囲や規制にも限りがあったため、公布後すぐに全ての労働者が等しく保護されたとはいえない。	労働者保護の目的、1911 年と 1916 年の違い、適用範囲の限界を示す。
問 11 保護と取締り	治安警察法は、労働者の団結や争議などを厳しく取り締まり、運動を抑えるために用いられた。一方、工場法は女性や年少者などの労働時間を制限し、労働者の保護を図る法律だった。	労働運動の取締りと、工場で働く人の保護という違いを示す。
問 12 産業と公害	銅の生産が伸びる一方、鉱毒が渡良瀬川流域に広がり、農作物や魚、人々の生活に被害を与えた。生産や利益だけでなく、環境への影響を防ぎ、被害を受けた人々の暮らしを守ることが課題となった。	銅山の生産と流域の被害を結び付け、環境保全や被害者救済の課題を示す。
問 13 田中正造の活動	被害を受けた人々の農業や生活を守り、鉱毒の防止や救済を政府に求めるためである。議会での質問や直訴の試みを通じ、鉱山の経営だけの問題とせず、政治が解決すべき問題として訴えた。	住民の生活を守る目的と、政府に予防や救済を求めたことを示す。
問 14 教育普及の影響	読み書きや計算を学ぶ人が増え、工場・商業・行政などを支える人材の育成につながった。また、新聞や雑誌、本を読める人が増え、新しい知識や文学、社会についての意見が広く伝わる基盤となった。	産業や行政を支える知識と、読者の増加による文化・情報の広がりを示す。

解答 STEP 3 記述問題 続き

問題	模範解答	採点のポイント
問 15 教育と国家	天皇への忠誠や親への孝行などを重視する道徳の方針を示し、学校教育の基準として用いられた。学校での奉読などを通じて、教育を天皇中心の国家の仕組みと強く結び付ける役割を持った。	道徳の方針を学校に広め、天皇中心の国家と教育を結び付けたことを示す。
問 16 文学の新表現	二葉亭四迷は、話し言葉に近い言文一致体で小説を書いた。正岡子規は、目の前の事物や実際の経験を捉える写生を重視し、俳句や短歌を新しくした。従来の表現を見直し、現実を伝える工夫を進めた。	言文一致と写生をそれぞれ説明し、文章や短歌・俳句の表現の変化を示す。
問 17 美術の二つの道	いえない。黒田清輝らによる洋画の発展に加え、岡倉天心やフェノロサによる日本美術の再評価、横山大観らによる日本画の革新も進んだ。欧米文化の導入と、日本の伝統の見直しの両方があった。	洋画の発展と日本美術の再評価・革新を挙げ、単なる置換えではないことを示す。
問 18 科学の国際交流	よくない。欧米に留学して知識や研究方法を学ぶ一方、志賀潔の赤痢菌発見や長岡半太郎の原子模型の提案など、日本人による研究も進んだ。学んだ知識を基に新たな成果を発表し、国際的な科学研究に加わった。	学ぶ側としての交流と、具体的な研究成果を二つ示し、科学への貢献を説明する。
問 19 戦争と表現	一つの意見だけでは説明できない。開戦を求める声がある一方、非戦論や身近な人の命を大切に思う表現もあった。新聞や文学は、さまざまな考えや個人の感情を社会に伝える役割を果たした。	社会の意見の違いと、新聞や文学が多様な考え・感情を伝えたことを示す。
問 20 発展と暮らし	いえない。機械生産や輸出、交通の発達で経済は成長したが、利益の広がりには差があった。工場労働者の長時間労働、土地を失う農民、公害の被害を受ける住民など、生活上の負担や問題も生まれた。	産業発展の成果と、労働者・農民・公害被害者などの負担を具体例で示す。